

印旛地区教育研究会

(環境教育研究部) レポート

八街市立実住小学校

Ⅰ 委員会活動(環境委員会)



企業で実施している環境活動への全校で取り組む。(中心となるのは環境委員会)

そのほかにも、学校園・校庭・体育館の環境整備も実施している。

2 授業実践(6年生家庭科)裏面参照

第6学年3組 家庭科(環境)学習指導案

八街市立実住小学校

指導者 佐藤 翔平

1 単元名 持続可能な社会のために（「わたしたちの家庭科5・6」開隆堂）

2 単元観

(1) 学習指導要領上の位置付け

「C消費生活・環境」(2)環境に配慮した生活

〔知識及び技能〕

ア：自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解すること。

〔思考力、判断力、表現力〕

イ：環境に配慮した生活について物の使い方などを考え、工夫すること。

(2) 単元の価値(環境問題等への視点)

本単元は、環境に配慮した生活について課題をもち、持続可能な社会の構築に向けて身近な消費生活と環境を考え工夫する活動を通して、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付けるとともに、これらを解決する力を養い、身近な消費生活と環境をよりよくしようとする実践的な態度を育成する。

環境問題や資源の大切さについては他教科等でも扱っている。この題材では、家庭科の学習のみならず、他教科等や自身の生活の中から環境との関わりを意識させ、実践に取り組めるようにすることを目指す。ただ我慢するのではなく、生活の充実と環境に配慮することをいかに両立させて生活していくか、考えられるようにしていきたい。

(3) 今後の学習への活用

中学校技術家庭科の目標(3)【よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う】

3 単元の目標

- 自分や家族等の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方を理解する。
- 物の使い方や環境に配慮した生活について、自分の生活の中から課題を見だし、解決に向けて実践し、振り返ることができる。
- 環境に配慮し、生活をよりよくしようと家族の一員としてできることを考える。

4 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 自分の生活と身近な環境との関わりについて理解している。 ② 自分の生活と環境に配慮した物の使い方などについて理解している。	① 環境に配慮した生活について問題を見だして課題を設定している。 ② 環境に配慮した生活について考え、工夫している。 ③ 環境に配慮した生活について、実践を評価したり、改善したりしている。	① 環境に配慮した生活について課題の解決に向けて主体的に実践しようとしている。 ② 環境に配慮した生活について課題解決に向けた一連の活動を振り返って、改善しようとしている。 ③ 環境に配慮した生活について工夫し、実践しようとしている。

5 本時の展開

(1) 本時の目標

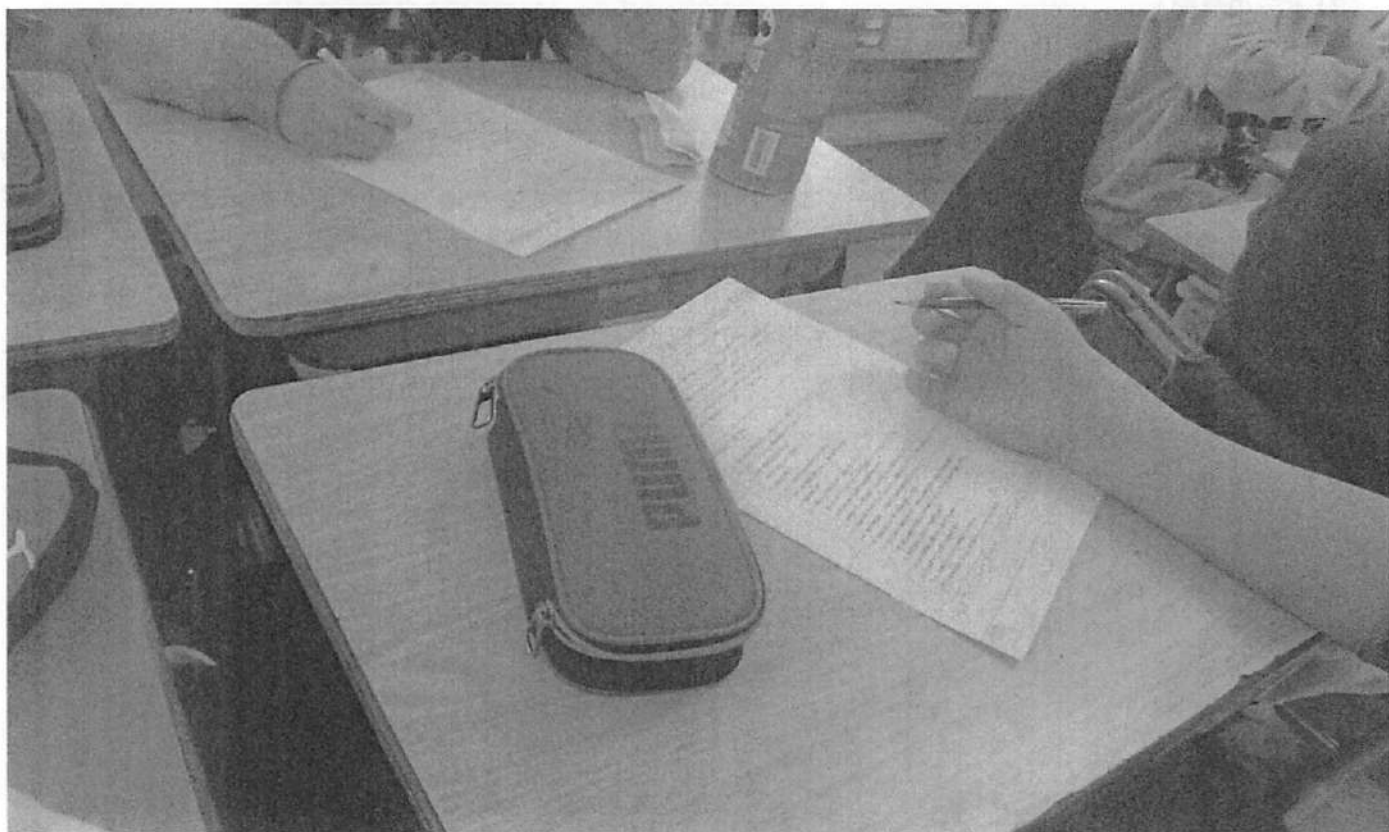
- エネルギー問題は、自分たちの生活や身近な環境と関わりがあることを理解することができる。(知)

(2) 本時の展開

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価(観点)【方法】	資料
5	【見い出す】 ・これまでの家庭科の学習からエネルギーとは何かを振り返る。	・教科書や身近な生活、情報機器やテレビなど身近なものから考えられるようにする。	エネ ル ギ ー 節 約 ゲ ー ム の 用 紙
	 たくさんの省エネ方法で今のベストは何だろうか。		
5	【自分で取り組む】 ・エネルギー節約ゲームの用紙を見て自分で決める。		
20	【広げ深める】 ・選び出された方法を一つ一つについてグループで検討し、内容を明らかにする。 ・最後に各自、これらの省エネルギー方法に自分の考えに従って優先順位を付ける。	 <進め方・方法> (1) 4名程度のグループを作り、お互いの顔を見渡せるようにテーブルを囲んで座る。 (2) 「省エネルギーの方法」リストから各自3つずつ、最も大切だと思う省エネルギー方法を選ぶ。 (3) この作業が終わったら、順番に自分の選んだ3つの省エネルギー方法のうち1つをみんなに発表する。 (4) 選び出された方法を一つ一つについてグループで検討し、内容を明らかにする。 (5) 最後に各自、これらの省エネルギー方法に自分の考えに従って優先順位を付ける (6) これを集計して全体の優先順位を出し、グループの選んだ省エネ方法BEST3を発表する。 ・環境問題に視点を当てて書けるように声掛けをす	
15	【まとめあげる】 ・これを集計して全体の優先順位を出し、グループの選んだ省エネ方法BEST3を発表する。 ・今日学んだことから自分たちにできる省エネについて感想を書く。		

る。

○エネルギー問題は、自分たちの生活や身近な環境と関わりがあることを理解することができる。(プリント)



実住 小 6 年

エネルギー節約ゲーム

出典: ヘンリー・サノフ: まちづくりデザインゲーム

<ゲームの進め方>

- (1) 4名程度のグループを作り、お互いの顔を見渡せるようにテーブルを囲んで座ってください。
- (2) 次に「省エネルギーの方法」リストから、各自3つずつ、最も大切だと思う省エネルギー法を選びます。
- (3) この作業が終わったら、順番に自分の選んだ3つの省エネルギー法のうち一つをみんなに発表して下さい。
- (4) 選り出された方法の一つ一つについてグループで検討し、内容を明らかにしていきます。
- (5) そして最後に各自、これらの省エネルギー法に自分の考えに従って優先順位を付けて下さい。
- (6) これを集計して全体の優先順位を出し、これがグループの選んだ省エネルギーの方法になります。

×もはうりにかいてね!!

<省エネルギーの方法>

- (1) 必要な都度に換気を行ない、換気を行ないっぱなしにしない
- (2) 窓にカーテンをつけ、建物の暖気の出入りをコントロールする
- (3) 夜間と週末は空調を行なわない
- (4) できるだけ窓によって通気をえる
- (5) 断熱性を高める
- (6) 暖かい季節には室内の温度を低めに保つ
- (7) 冷たい床や壁面の露出を避け、熱が逃げるのを防ぐ
- (8) 湿度を低く保つ
- (9) 太陽からの光熱をなるべく建物の中にとりこむ
- (10) 省エネルギーの工夫をしたら、その効果をチェックできるようにしておく
- (11) 非常に寒い時でも暖房の使用は最小限に抑える
- (12) 残業時にビルを使う時は、なるべくまとまった場所を使うようにする
- (13) 室温が低めでもだいじょうぶなように、建物の中にいる人たちに暖かい服装を心がけるようすすめる
- (14) 廊下や階段は、13度以上の場合は暖房を行なわないようにする
- (15) 部屋を使わない時には室温を低くしておく
- (16) 近くに暖かい場所があったり、窓から太陽熱を受ける場所では暖房は使わない
- (17) 外に面した壁ぎわや窓の近くで仕事をする人に、冬の間は暖かい服装をすすめる
- (18) 現在の採光・照明をより効果的に使う
- (19) 机や作業場の位置を冷たい壁ぎわから離す
- (20) 自然光をできるだけ効果的に使う
- (21) 作業スペースに応じて照明レベルを落とす
- (22) 建物の全部、または一部が使われていない時には灯りを消す

ー今日学んだことから自分たちができる省エネ方法は?

22.9

感想

ー省エネの7つのポイントを自分で行なうことはよいと思います



実住 小 6年

エネルギー節約ゲーム

出典: ヘンリー・サノフ: まちづくりデザインゲーム

<ゲームの進め方>

- (1) 4名程度のグループを作り、お互いの顔を見渡せるようにテーブルを囲んで座ってください。
- (2) 次に、「省エネルギーの方法」リストから、各自3つずつ、最も大切だと思う省エネルギー法を選びます。
- (3) この作業が終わったら、順番に自分の選んだ3つの省エネルギー法のうち一つをみんなに発表して下さい。
- (4) 選び出された方法を一つ一つについてグループで検討し、内容を明らかにしていきます。
- (5) そして最後に各自、これらの省エネルギー法に自分の考えに従って優先順位を付けて下さい。
- (6) これを集計して全体の優先順位を出し、これがグループの選んだ省エネルギーの方法になります。

（そほうりにかいてね）

<省エネルギーの方法>

- (1) 必要な都度に換気を行ない、換気を行ないっぱなしにしない
- (2) 窓にカーテンをつけ、建物の暖気の出入りをコントロールする
- (3) 夜間と週末は空調を行なわない
- (4) できるだけ窓によって通気をえる
- (5) 断熱性を高める
- (6) 暖かい季節には室内の温度を低めに保つ
- (7) 冷たい床や壁面の露出を避け、熱が逃げるのを防ぐ
- (8) 湿度を低く保つ
- (9) 太陽からの光熱をなるべく建物の中にとりこむ (機械いけはうす、カーテンを開けて光をとりこむ)
- (10) 省エネルギーの工夫をしたら、その効果をチェックできるようにしておく
- (11) 非常に寒い時でも暖房の使用は最小限に抑える
- (12) 残業時にビルを使う時は、なるべくまとまった場所を使うようにする
- (13) 室温が低めでもだいじょうぶなように、建物の中にいる人たちに暖かい服装を心がけるようすすめる
- (14) 廊下や階段は、13度以上の場合は暖房を行なわないようにする
- (15) 部屋を使わない時には室温を低くしておく
- (16) 近くに暖かい場所があったり、窓から太陽熱を受ける場所では暖房は使わない (熱のいけが使い)
- (17) 外に面した壁ぎわや窓の近くで仕事をする人に、冬の間は暖かい服装をすすめる
- (18) 現在の採光・照明をより効果的に使う
- (19) 机や作業場の位置を冷たい壁ぎわから離す
- (20) 自然光をできるだけ効果的に使う (19)と同。自然の光をいける)
- (21) 作業スペースに応じて照明レベルを落とす
- (22) 建物の全部、または一部が使われていない時には灯りを消す

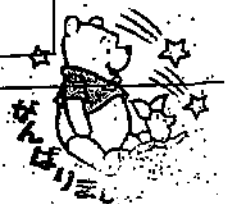
暖かい

電気

— 今日学んだことから自分たちができる省エネ方法は？ —

(20)・(16)

感想 いつも暖房の前はいていたの、自然の力をかりて省エネをし
て、田舎の生活が平和な感じがとうとういきました。



実住小6年

エネルギー節約ゲーム

出典：ヘンリー・サノフ：まちづくりデザインゲーム

<ゲームの進め方>

- (1) 4名程度のグループを作り、お互いの顔を見渡せるようにテーブルを囲んで座ってください。
- (2) 次に「省エネルギーの方法」リストから、各自3つずつ、最も大切だと思う省エネルギー法を選びます。
- (3) この作業が終わったら、順番に自分の選んだ3つの省エネルギー法のうち一つをみんなに発表して下さい。
- (4) 選出された方法の一つ一つについてグループで検討し、内容を明らかにしていきます。
- (5) そして最後に各自、これらの省エネルギー法に自分の考えに従って優先順位を付けて下さい。
- (6) これを集計して全体の優先順位を出し、これがグループの選んだ省エネルギーの方法になります。

(一)青線

も聞いた後…(一)黒線

Xもはうりにかいてね!!

<省エネルギーの方法>

- (1) 必要な都度に換気を行ない、換気を行ないっぱなしにしない
- (2) 窓にカーテンをつけ、建物の暖気の出入りをコントロールする
- (3) 夜間と週末は空調を行なわない
- (4) できるだけ窓によって通気をえる
- (5) 断熱性を高める
- (6) 暖かい季節には室内の温度を低めに保つ
- (7) 冷たい床や壁面の露出を避け、熱が逃げるのを防ぐ
- (8) 湿度を低く保つ
- (9) 太陽からの光熱をなるべく建物の中にとりこむ
- (10) 省エネルギーの工夫をしたら、その効果をチェックできるようにしておく
- (11) 非常に寒い時でも暖房の使用は最小限に抑える
- (12) 残業時にビルを使う時は、なるべくまとまった場所を使うようにする
- (13) 室温が低めでもだいじょうぶなように、建物の中にいる人たちに暖かい服装を心がけるようすすめる
- (14) 廊下や階段は、1.3度以上の場合は暖房を行なわないようにする
- (15) 部屋を使わない時には室温を低くしておく
- (16) 近くに暖かい場所があったり、窓から太陽熱を受ける場所では暖房は使わない
- (17) 外に面した壁ぎわや窓の近くで仕事をする人に、冬の間は暖かい服装をすすめる
- (18) 現在の採光・照明をより効果的に使う
- (19) 机や作業場の位置を冷たい壁ぎわから離す
- (20) 自然光をできるだけ効果的に使う
- (21) 作業スペースに応じて照明レベルを落とす
- (22) 建物の全部、または一部が使われていない時には灯りを消す

グループ
3票

—今日学んだことから自分たちができる省エネ方法は何?—
自分が今回選んだ①②③です。

感想 家でもできるものがたくさんあるので、
必ずみんなが音読して取りくみたいと思います。



エネルギー節約ゲーム

2021年6月

出典：ヘンリー・サノフ、まちづくりデザインゲームー環境アサインワークブック、組立

＜ゲームの進め方＞

- (1) 4名程度のグループを作り、お互いの顔を見渡せるようにテーブルを囲んで座ってください。
- (2) 次に「省エネルギーの方法」リストから、各自3つずつ、最も大切だと思う省エネルギー法を選びます。
- (3) この作業が終わったら、順番に自分の選んだ3つの省エネルギー法のうち一つをみんなに発表して下さい。
- (4) 選出された方法の一つ一つについてグループで検討し、内容を明らかにしていきます。
- (5) そして最後に各自、これらの省エネルギー法に自分の考えに従って優先順位を付けて下さい。
- (6) これを集計して全体の優先順位を出し、これがグループの選んだ省エネルギーの方法になります。

（これはうりに加えてね！）

＜省エネルギーの方法＞

- (1) 必要な都度に換気を行ない、換気を行ないっぱなしにしない
- (2) 窓にカーテンをつけ、建物の暖気の出入りをコントロールする
- (3) 夜間と週末は空調を行なわない
- (4) できるだけ窓によって通気をえる
- (5) 断熱性を高める
- (6) 暖かい季節には室内の温度を低めに保つ 7
- (7) 冷たい床や壁面の露出を避け、熱が逃げるのを防ぐ
- (8) 湿度を低く保つ 7
- (9) 太陽からの光熱をなるべく建物の中にとりこむ
- (10) 省エネルギーの工夫をしたら、その効果をチェックできるようにしておく
- (11) 非常に寒い時でも暖房の使用は最小限に抑える
- (12) 残業時にビルを使う時は、なるべくまとまった場所を使うようにする
- (13) 室温が低めでもだいじょうぶなように、建物の中にいる人たちに暖かい服装を心がけるようすすめる
- (14) 廊下や階段は、13度以上の場合は暖房を行なわないようにする
- (15) 部屋を使わない時には室温を低くしておく 3
- (16) 近くに暖かい場所があったり、窓から太陽熱を受ける場所では暖房は使わない
- (17) 外に面した壁ぎわや窓の近くで仕事をする人に、冬の間は暖かい服装をすすめる
- (18) 現在の採光・照明をより効果的に使う
- (19) 机や作業場の位置を冷たい壁ぎわから離す
- (20) 自然光をできるだけ効果的に使う
- (21) 作業スペースに応じて照明レベルを落とす
- (22) 建物の全部、または一部が使われていない時には灯りを消す

今日学んだことから自分たちができる省エネ方法は？

22



感想 省エネのことも知らずに生きてくることがあったから、省エネ

NO. 1 (20)
NO. 2 (16)
NO. 3 (12)

エネルギー節約ゲーム

実任小、6年

出典：ヘンリー・サノフ、まちづくりデザインチーム

<ゲームの進め方>

- (1) 4名程度のグループを作り、お互いの顔を見渡せるようにテーブルを囲んで座ってください。
- (2) 次に「省エネルギーの方法」リストから、各自3つずつ、最も大切だと思う省エネルギー法を選びます。
- (3) この作業が終わったら、順番に自分の選んだ3つの省エネルギー法のうち一つをみんなに発表して下さい。
- (4) 選出された方法を一つ一つについてグループで検討し、内容を明らかにしていきます。
- (5) そして最後に各自、これらの省エネルギー法に自分の考えに従って優先順位を付けて下さい。
- (6) これを集計して全体の優先順位を出し、これがグループの選んだ省エネルギーの方法になります。

（それはうらにめいてね！）

<省エネルギーの方法>

- X (1) 必要な都度に換気を行ない、換気を行ないっぱなしにしない
- X (2) 窓にカーテンをつけ、建物の暖気の出入りをコントロールする T
- X (3) 夜間と週末は空調を行なわない
- X (4) できるだけ窓によって通気をえる
- X (5) 断熱性を高める
- X (6) 暖かい季節には室内の温度を低めに保つ T
- X (7) 冷たい床や壁面の露出を避け、熱が逃げるのを防ぐ
- X (8) 湿度を低く保つ
- X (9) 太陽からの光熱をなるべく建物の中にとりこむ
- X (10) 省エネルギーの工夫をしたら、その効果をチェックできるようにしておく
- X (11) 非常に寒い時でも暖房の使用は最小限に抑える
- X (12) 残業時にビルを使う時は、なるべくまとまった場所を使うようにする T
- X (13) 室温が低めでもだいじょうぶなように、建物の中にいる人たちに暖かい服装を心がけるようすすめる
- X (14) 廊下や階段は、13度以上の場合は暖房を行なわないようにする
- X (15) 部屋を使わない時には室温を低くしておく T
- X (16) 近くに暖かい場所があったり、窓から太陽熱を受ける場所では暖房は使わない
- X (17) 外に面した壁ぎわや窓の近くで仕事をする人に、冬の間は暖かい服装をすすめる
- X (18) 現在の採光・照明をより効果的に使う
- X (19) 机や作業場の位置を冷たい壁ぎわから離す
- X (20) 自然光をできるだけ効果的に使う T
- X (21) 作業スペースに応じて照明レベルを落とす
- X (22) 建物の全部、または一部が使われていない時には灯りを消す T

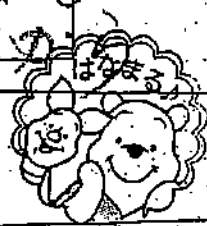
太陽などの自然の資源を利用しているのに、電気を使っている。環境にもいい。

今日学んだことから自分たちができる省エネ方法は？

(20) など、自然の資源も使えるものが良いと思った

感想

これから、環境を良くするために省エネ方法を勉強する。



小 年 組 番 前

エネルギー節約ゲーム

出典：ヘンリー・サノフ：まちづくりデザインゲームー環境デザインワークショップ、晶文社

<ゲームの進め方>

- (1) 4名程度のグループを作り、お互いの顔を見渡せるようにテーブルを囲んで座ってください。
- (2) 次に「省エネルギーの方法」リストから、各自3つずつ、最も大切だと思う省エネルギー法を選びます。
- (3) この作業が終わったら、順番に自分の選んだ3つの省エネルギー法のうち一つをみんなに発表して下さい。
- (4) 選出された方法の一つ一つについてグループで検討し、内容を明らかにしていきます。
- (5) そして最後に各自、これらの省エネルギー法に自分の考えに従って優先順位を付けて下さい。
- (6) これを集計して全体の優先順位を出し、これがグループの選んだ省エネルギーの方法になります。

（もはうりにかいてね！）

<省エネルギーの方法>

- (1) 必要な都度に換気を行ない、換気を行ないっぱなしにしない
- (2) 窓にカーテンをつけ、建物の暖気の出入りをコントロールする
- (3) 夜間と週末は空調を行なわない
- (4) できるだけ窓によって通気をえる
- (5) 断熱性を高める
- (6) 暖かい季節には室内の温度を低めに保つ
- (7) 冷たい床や壁面の露出を避け、熱が逃げるのを防ぐ
- (8) 湿度を低く保つ
- (9) 太陽からの光熱をなるべく建物の中にとりこむ
- (10) 省エネルギーの工夫をしたら、その効果をチェックできるようにしておく
- (11) 非常に寒い時でも暖房の使用は最小限に抑える
- (12) 残業時にビルを使う時は、なるべくまとまった場所を使うようにする
- (13) 室温が低めでもだいじょうぶなように、建物の中にいる人たちに暖かい服装を心がけるようすすめる
- (14) 廊下や階段は、13度以上の場合は暖房を行なわないようにする
- (15) 部屋を使わない時には室温を低くしておく
- (16) 近くに暖かい場所があったり、窓から太陽熱を受ける場所では暖房は使わない
- (17) 外に面した壁ぎわや窓の近くで仕事をする人に、冬の間は暖かい服装をすすめる
- (18) 現在の採光・照明をより効果的に使う
- (19) 机や作業場の位置を冷たい壁ぎわから離す
- (20) 自然光をできるだけ効果的に使う
- (21) 作業スペースに応じて照明レベルを落とす
- (22) 建物の全部、または一部が使われていない時には灯りを消す

— 今日学んだことから自分たちにできる省エネ方法は？ —

感想

環境教育実践報告

栄町立安食台小学校

1 学年・教科 6年生・家庭科

2 単元 クリーン作戦で快適に

3 学習の流れ

時	授業名	学習内容	環境教育との関連（児童の反応）
1	なぜそうじをするの だろう	・学校内の汚れを調べる。（ガ スコンロ、教室、昇降口、手 洗い場） ・健康で快適に過ごすため に、どのように学習を進め たいかを考え、学習の見通 しをもつ。	・学校内の汚れを見付け、汚れの種類 と汚れる理由を考えている。
2～3	よごれに合ったそう じをしよう	・掃除の手順を確認する。 ・家庭科室のガスコンロを掃 除する計画を立てて、実践 する。 ・掃除を振り返る。	・汚れの場所に合わせた清掃の仕方 を考えている。 ・環境に配慮した方法で掃除をする よさについて知り、実践している。
4	身の回りを快適にし よう	・家庭で掃除に取り組みたい 場所を決めて、常にきれいに できる工夫を考える。 ・お互いの工夫を交流する。	・家庭生活が快適になるための清掃 の仕方を工夫し、実践しようとし ている。

4 成果と課題

- ・学校内の汚れ調べでは、教室や昇降口、手洗い場、家庭科室のガスコンロを指定した。「いつも使っている場所」を調べに行くので、とても興味関心が高かった。子供たちは、「絶対きたくない！」と言いながら校内を視察し、それぞれの場所にどんな汚れがあるか調べていた。
- ・環境に配慮した掃除の大切さについて学習し、家庭科室のガスコンロを重曹を使って掃除する計画を立てて実践した。短い時間で簡単に油汚れが落ちてきれいになってくるので、子供たちも感激しながら活動できてよかった。
- ・学んだことが生かされるよう、家庭生活でも実践するように呼び掛けていく必要がある。

5 資料

・学校内のよごれ調べのワークシート

「(2) 確かめてみましょう。」は、調べに行った場所(教室、昇降口、手洗い場、ガスコンロ)の中から選んで書かせました。

2 学校には、どのようなよごれがあるのでしょうか。

(1) 予想してみましょう。(どこに、どのようなよごれがあるか)

2+ 教室の角にほこりがたまってる(マスクも)
手洗い場...じゅくちのひねる所にカビ生えやすい?
しょうこうロートアのすきまにほこりたまりがち
砂も!

(2) ^{たし}確かめてみましょう。

〈どこに〉ガスコンロ	〈どこに〉手洗い場
〈よごれ〉油よごれ	〈よごれ〉カビ、水あか、石けんのあか
〈気がついたこと〉油がとびちって、かたまっている。白色	〈気がついたこと〉ひねるところにカビか
青カビかはえている。(2)	はえている。木の部分にも黒カビ
ガラガラベタベタ	水あかができてる。
	石けんのあとがっている

・実践学習「ガスコンロを重曹できれいにしよう」

そうじの前と後で様子を観察しました。

そうじ前	そうじ後
ちょっとニオイがする。いどなニオイ ベタベタしてる 青カビ ヌルヌルしてる 油よごれ	重曹をやったところが全部では ないけど、きれいになっていた。 ベタベタが、 <u>そうじ前よりも</u> なくな った。 まわりのところを重曹でやったら きれいになった(さいしは、油 よごれがすごかった)

そうじ前	そうじ後
ちとニオイがするせいやなニオイ ヘタヘタしてる 青カビが生えてる ヌルヌルしている 油よごれも油のあと	油よごれがほとんど なくなった あまりヘタヘタしなくなった まわりのふくもピカピカ になった

・掃除を試みた感想や、工夫したことを書きました。

しんしんしんしんしん。

工夫したこと・結果
重そうを入れた水に長くしみこませた 10秒くらいおいてから、くときれいになった。

《ふり返りコーナー》気がついたことや感想などを書きましょう。

😊😊😞 軽いよごれはすぐおちるけど、かんこな
 よごれはおちににくいから重そうの量をおおくする

工夫したこと・結果
重そうと水の中へキン もいたあとに、あまり強くはぶらないように しました。

《ふり返りコーナー》気がついたことや感想などを書きましょう。

😊😊😞 氷とかで油よごれなんかをとろうとすると
 するのに時間がかかるといへんが、肌で重そうとったとら油よ
 ごれがすぐとれることがわかった。

・掃除をする前のガスコンロ

油汚れが固まっていて、べたべたした感じがします。ほこりもかかっていたいます。



・重曹を使って掃除をした後のガスコンロの様子

油汚れは、重曹液をしみこませておくと、こすらなくても簡単に落ちました。



そうじの用具	
	重そう、ふきん、ぞうきん
そうじの方法	①重そう 小さじ1、水 200mlを混ぜる
	②ふきんにとってやさしくこする。
	③ぞうきんでふきあげる。

・掃除の用具
と方法につ
いて

環境教育に関わる実践例

白井市立七次台小学校

○食育を通じての環境教育（全学年）

給食センターの職員の方に来ていただき、給食前に話をしていただいた。そして、食事の様子を見ていただいた。

児童は、改めて食のことフードロスのことについて考える機会となった。

○生活科（低学年）「秋探し」

校庭探検をして秋を探す（予定）

○社会科（4年生）「水はどこから」

浄水場の見学（予定）

○社会科（4年生）「ゴミはどこから」

クリーンセンターの見学（予定）

○総合的な学習の時間（5学年）

SDGs とは何かを調べ理解する。

市内の SDGs の取り組みを調べたり、自分にできる SDGs の取り組みを考えたりして、新聞（パワーポイント）にまとめる活動をする。

児童は改めて SDGs に関心をもち、興味をもって新聞作りに取り組んでいる。

○特別支援教育

学校菜園での生活活動をする。野菜を育て、収穫し、食べることで「食と環境の循環」を体験する。

令和7年8月19日

四街道市立栗山小学校

教諭・樋口 正 浩

環境教育の実践事例

Ⅰ 学区にある「小鳥の森」「たろやまの郷」を活用した実践事例

「小鳥の森」

千葉県四街道市にある「栗山市民の森」は、住宅街に隣接する市民の憩いの場です。12000平方メートルの敷地の中には、緑豊かな自然が広がっており、散策路もあるので、お散歩にもってこいの場所です。敷地内には、小鳥や自然との触れ合いの場「小鳥の森」があり、小鳥が水浴びできるよう小鳥のプールがあり、ファミリー連れに人気です。また、定期的に遊び道具を運び込んだ「栗山出前プレーパーク」が行なわれ、自然の中での遊びが体験できます。

「たろやまの郷」

たろやまの郷とは、市と市民団体（たろやま会）の協働により維持保全している里山であり、大切なみどりを残していくため、老若男女の多彩なメンバーが日々活動しています。

季節にあわせ、稲作体験や自然観察会など様々なイベントを開催しています。

第1学年 生活科

学校から道を挟んだ向かいにあり、手軽に自然観察を行うことができる。生活科の学習の際に生き物を探したり、観察したり、落ち葉やどんぐりを集める際にも活用している。

第4学年 総合的な学習の時間「地域の自然について調べよう」

探究課題 身近な自然環境とそこに起きている環境問題について知り、調べる。

春・夏・秋・冬の4回、自然観察指導員の方とともにたろやまの郷を観察することで、身近な動植物の様子や自然環境の変化、温暖化などについて問題意識をもち、調べ、まとめる。

今年より熱中症対策のため夏の観察会は中止となった。また、昨年たろやまの郷にてアライグマ、イノシシの目撃情報があったこと、秋にはオオスズメバチの巣が見つかったりと事前の観察会にて環境の変化等が次々とあり、対応が複雑化してきている。

自閉症・情緒特別支援学級6名の児童が在籍している。3年生男子1名、女子1名、4年生男子2名、6年生男子1名、女子1名である。主に国語科と算数科の学習をしている。「しいの木農園」ということで、主に野菜の栽培も行ってる。全員で同じ環境教育は行えないので、それぞれの学年に応じて行える環境教育をしている。

3年生・・・社会科の学習で、スーパーマーケットの学習を行った。お店の中にペットボトル等の回収ボックスがあったことで、お店が品物を売るだけでなく、リサイクルにも力を入れていることを学ぶ。見学後、自分も飲み終えたペットボトルや魚や肉の入った発砲スチロールのパックを、回収ボックスに入れようという気持ちをもつことができた。また、マイパックの持参を心掛けたいという感想を社会科ノートに書いていた。

4年生・・・総合で環境教育を行っている。調べ学習を通して、ゴミとして出す物の中には、工夫すると生活にいかせる物があることを知る。新聞紙は、窓掃除の時使うと窓がきれいになること、野菜を新聞紙に包んで保存すると長持ちすることを知る。家でお母さんに教えてあげようということを資料をまとめながら話していた。空き瓶にマジックで絵を描くとオリジナルの花瓶ができることも学んだ。また、使い古しのハブラシが靴や上履き洗いに使えることも教えてもらった。環境教育の調べ学習をしながら、「ぼくにも、ゴミを減らすことができるんだな。」と言っていた。調べ学習を行った後は、今の環境を守っていくためには、なるべくゴミを出さないようにしなければいけないという気持ちがもてるようになったようだ。

6年生・・・国語の学習で「雪は新しいエネルギー」という学習で化石燃料に頼らない社会へと進んでいくことの大切さを学んだ。学習を終えたあと、今の自分ができていることを考えさせたところ、微力かもしれないけれど、二酸化炭素を出さないように車を使わないで、歩いたり、自転車に乗っていくようにしたいと話していた。「川とノリオ」の学習では、戦争が最大の環境破壊であることを学習を通して理解できるように学習を進めていった。戦争が環境破壊に繋がるというところまでは理解は十分出来なかったが、戦争は二度と起こしてはいけないという気持ちはもつことができたのではないかなと思う。

しいの木農園について

土を耕していると、ミミズや甲虫などの幼虫が出てくる。幼虫もミミズも見た目で「気持ち悪い」と思う。そんな時、ミミズや幼虫が土の中で果たす役割を教えるようにしている。ミミズが土の中で動くことで、土を耕したり、土の中に空気を入れたりすることなどを話すと、ミミズに対する意識が少しだけ変化していた。土を耕した時、ミミズを見ても、悲鳴をあげることはなくなったのである。

環境について、教師が意識しながら授業していかないと、児童が環境について考えることもできなくなってしまうので、様々な授業の中で環境教育を意識しながら学習していくことは、とても大切だと考える。

1 生徒会活動における環境教育の実践事例①～③

①ユニセフ学校募金

各学期に5日間朝、生徒会本部主催で昇降口前で募金活動を行っている。

ユニセフからは集まった募金の合計金額や感謝状【図1】も送られており、そのお金が世界150以上の国と地域で使われることが記されている。自分が募金した3円の募金でビタミンAのカプセルが1錠に変えられることや449円で10本と10冊の鉛筆とノートに役立てられる内容も掲示してある。

②コンタクトレンズのリサイクル

AEON店内にある「アイシティ」と連携し、コンタクトの空ケースのリサイクルを行っている。学校の生徒が頻繁に通る場所に数カ所設置されている。リサイクルできた総量と感謝状が送られてきている。【図2】リサイクルボックスには酸化炭素の削減や、日本アイバンク協会への寄付につながっていくことが記されている。【図3】

③生徒会行事におけるペーパーレス活動

5月に行われた生徒総会では30ページ近くに及ぶ提案資料をすべて、PDF化しタブレット資料として配信した。2学期に行われる生徒会選挙も紙での投票ではなく、タブレットを使用しての提案に変え、数年前からかなりの紙資源を削減している。

2 生徒の反応

日常的に設置されているリサイクルBOXや各学期に定期的に行われる生徒会の募金活動を通して、リサイクルの大切さや世界の貧しい人達へ手を差し伸べるといった意識は向上している。通年での福祉委員のユニセフ募金活動も国内や世界の国々の貧困について考える機会となっている。



【図1】



【図2】



【図3】

七次台中学校 環境教育実践事例

『ななふくこ（ふくろう）の観察と環境について考える』



私たちの社会や日々の暮らしは様々な形で生物の多様性や生態系の機能からなる生物圏に支えられている。しかし人類は地球環境を改変し、生態系や生物多様性に影響を及ぼしている。自然と共存する社会が求められている今、自然環境問題を自分ごととして捉える姿勢が必要になっている。

そこで七次台中学校では毎年子育てで飛来するふくろうを観察することによって生徒達にふくろうの住む自然環境に興味を持たせ、今後もふくろうと共存していくために必要な環境について考え、自然環境の保全について自ら行動していく姿勢を育む。

<活動>

○理科実験室からの観察（理科授業中）

5月～6月 子育てから巣立ちまで

・なぜふくろうは七中で子育てをしているのだろうか

<環境に対する意識>

～生徒アンケートより～

① ふくろうが来る環境を守りたいと思いますか？

思う（66%）

思わない（2%）

どちらでもよい（32%）

② ふくろうが来る環境を守るために、私たちはどのようなことをしたらよいか？

- ・木を伐採しない
- ・ゴミを捨てず自然を大事にする
- ・空気をきれいにする
- ・掃除をしっかりとる
- ・植物を大切に扱う
- ・木がきれいに育つようにサポートする

③ 今、気になる環境問題は何か？

- ・地球温暖化
- ・プラスチックごみ
- ・森林破壊



環境教育の実践例交流レポート

八街市立八街東小学校 千葉 大索 渡邊 秀耶

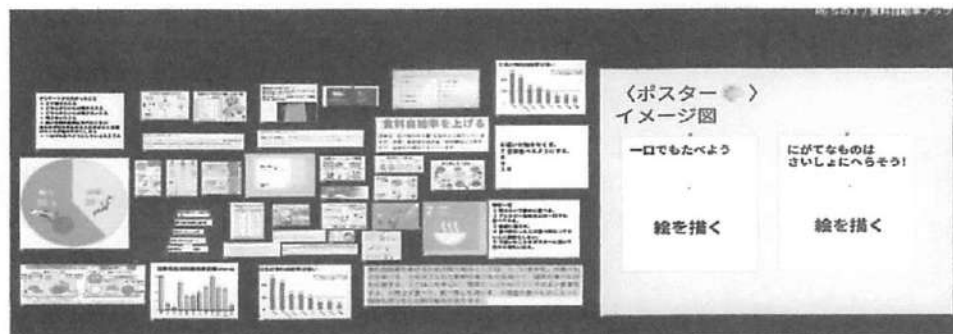
○第5学年 総合的な学習の時間（令和6年度実施）

○単元名「給食残菜ゼロプロジェクト」

○手だて（活動）

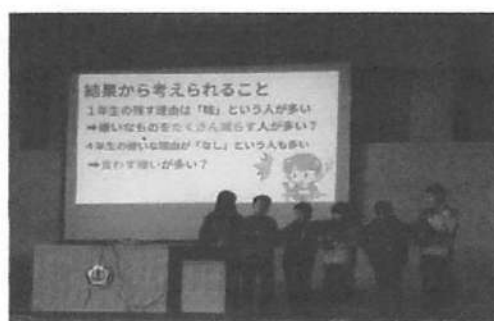
- ・SDGS→食料自給率（ロイロノートで共有）→課題が広すぎる→本校の残菜率が高い→「残菜ゼロを目標とする」という自分達で取り組むことのできる課題を設定した。

<ロイロノートの一部>



- ・5年生各組の学習班ごとに低・中・高の各クラス担当を決めた。
- ・代表児童が給食センターに電話をして、「残すことの多い食材（魚系）」、「給食センターの方の苦労や大変なこと」「1人分の盛り付けの量」等を調査した。
- ・各クラスで給食に関するアンケートとして、各クラスにあった手立てを考えた。
- ・模造紙、画用紙、タブレットなどにまとめ各クラスで、残菜ゼロのプレゼンテーションを行った。
- ・食当たりの量をどれくらい盛り付ければよいか。→自分たちで考える。配膳に活かす。
- ・5年生児童が担当教室で給食の配膳をサポートし、実際に一緒に給食も食べた。
- ・全校集会で、学習した内容を発表した。5年生の各学習班において、成果が上がったところ、良かったところを合わせて、発表資料を作り、代表の班が全校集会で発表した。

<全校集会での発表>



○児童の反応

- ・毎日、残菜の数値を調査したせいもあり、児童が牛乳を飲む量が増え、苦手なものでも一口は食べる児童が増えた。全校で残菜の量が減った。5年生も給食を食べるようになった。
- ・残菜ゼロに向け、頑張ったクラスに賞状を送った。もらったクラスの児童も喜んでいた。
- ・5年生の取り組みによって、6年生も意識して食べるようになった。また、データのとり方、まとめ方を6年生に教わるといった交流が見られた。
- ・5年生児童は、食品ロスの問題に取り組むとともに、役に立っているという充実感を持って活動ができた。みんなからも褒められ、うれしそうな表情が見られた。

Lesson 2



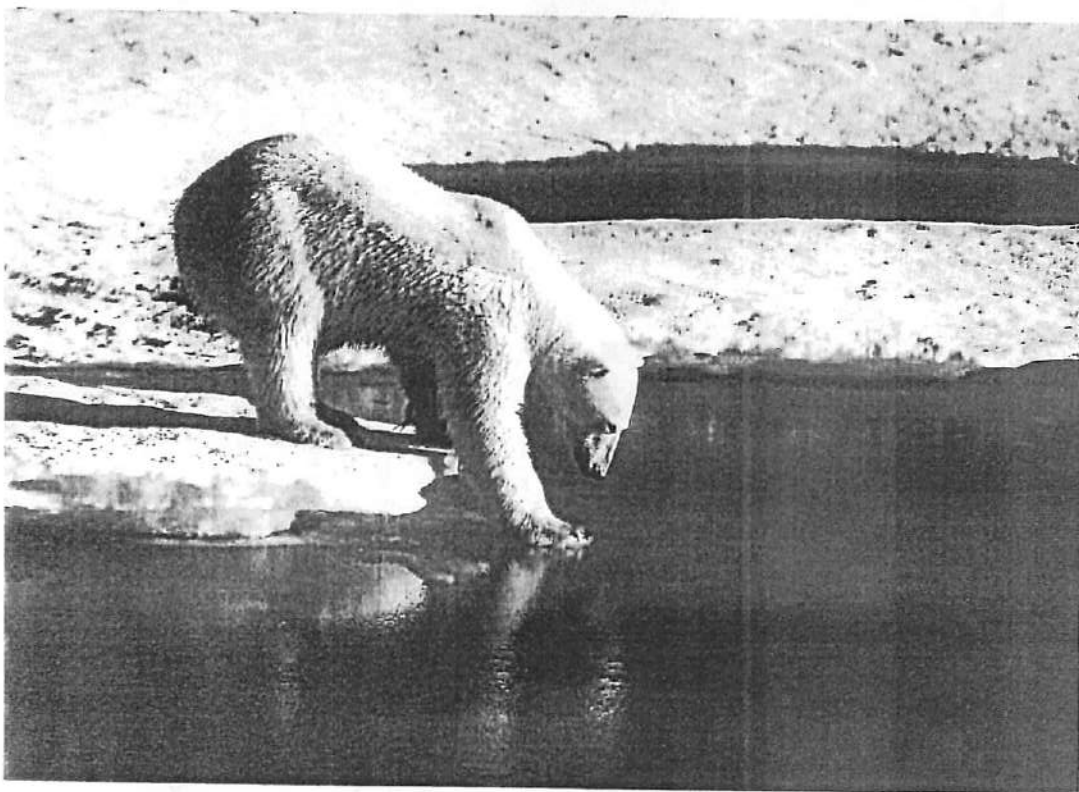
Energy Sources for Our Future



Goal

内容理解 地球温暖化や環境問題について、現在起きていることを理解する。

活動 地球温暖化や環境問題について、今後起こることを想像し、表現することができる。



energy [ˈɛnədʒi]
source(s) [sɔːrs(əz)]
earth [ɜːθ]



What is happening to the earth now?

twenty-three ◀ 23

Lesson 3



Design Makes Change



Goal

内容理解 紹介されているデザインが、どのように役立っているかを理解する。

活動 身のまわりの便利なデザインを探して、どこが便利かを表現することができる。



design [dizain]



What are they doing?

thirty-three ◀ 33

Scene アヤとボブは、再生可能エネルギーについて発表しています。

Activities Page (p. 42) に取り組もう。

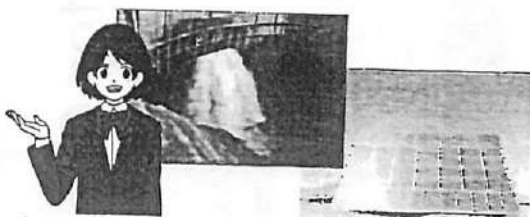
Words & Phrases

electricity [ɪlektrɪsɪti]
fossil [ˈfɒsəl]
fuel(s) [ˈfjuːl(s)]
fossil fuel(s) [ˈfɒsəl ˈfjuːl(s)] 化石燃料
pollute [pəˈluːt]
renewable [rɪˈnjuːəbəl]
renewable energy
再生可能エネルギー
instance [ɪnˈstɑːns]
for instance
たとえば
wind [wɪnd]
pollution [pəˈluːʃən]

再生可能エネルギーには、どんなものがあるだろう。

Bob: We use electricity every day. We get a lot of electricity from fossil fuels. However, they pollute the air and water.

Aya: Now we are using renewable energy, too. For instance, we get energy from wind, water, sunlight, and so on. It doesn't cause pollution.



過去のある時点でしていたことを伝える表現

I was listening to music when my father came home.

Tool Kit

My brother was making a cake when I came home.

my brother / make a cake



my mother / use a computer



my father / play the piano



my sister / watch TV



28 ▶ twenty-eight

イントロネーション We get energy from wind (↑), water (↑), sunlight (↑), and so on (↑).

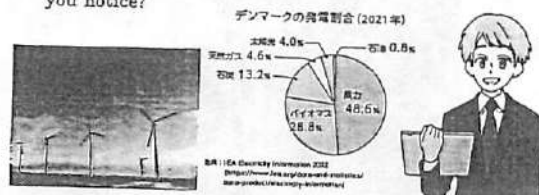
グラフからどんなことが読み取れるか考えてみよう。

Bob: We found some interesting data when we were looking for information about renewable energy.

Aya: Look at this graph. In Denmark, they got more than half of the country's electricity from wind and solar power in 2021.

Bob: Also, they don't use nuclear energy at all.

Aya: Now let's look at the graph for Japan. What do you notice?



Let's Listen

マサキが家族の様子について話しています。それぞれの人物について、内容に合うものを○で囲もう。

- お母さんは (料理をしていた / ヨガをしていた)。
- お父さんは (テレビを見ていた / 新聞を読んでいた)。
- お姉さんは (勉強していた / 歌を歌っていた)。
- マサキはスマートフォンで (ゲームをしていた / メールを書いていた)。

Read & Try!

- 本文を読んで、() にあてはまることを書こう。
- 化石燃料を使った発電は () と () を汚染する。
- 2021年、デンマークでは () と () を使った発電が半分以上を占めた。
- デンマークと日本の発電割合にどんな違いが見られるか、話し合ってみよう。

twenty-nine ▶ 29

Scene アヤがユニバーサルデザイン (UD) について発表しています。

Activities Page (p. 42) に取り組もう。

Words & Phrases

or
American [əˈmerɪkən]
Ronald Mace [ˈrɒnəld məs]
ロナルド・メイス (名・姓)
vending machine(s) [ˈvɛndɪŋ məʃɪn(s)]
自動販売機
machine(s) [məʃɪn(s)]
between [biˈtwiːn, bɪ-]

Hello, everyone.

I'm going to talk about universal design, or UD. Do you know much about it? In the 1980s, an American, Ronald Mace, created the idea of "universal design." It helps everyone.

Look at these vending machines. There's a big difference between their designs. From the left one, everyone can buy drinks easily, even small children.



「～すること」を表す表現

I enjoyed talking with my friends.
I like playing the guitar.

Tool Kit

I like listening to music.

like / listen to music



like / play basketball



enjoy / paint pictures



finished / read a book



point [peɪnt]

38 ▶ thirty-eight

発音 /ɪ/ between, keep, three

it, their, this などが見えるものに注目しよう。

That's because the coin slot and buttons are near the ground. This machine is a good example of UD.

From the other machine, some people may not be able to buy drinks easily. So, we cannot say it is universal.

In fact, many things around us aren't universal. We should start learning about UD and think of good examples of it.



Let's Listen

自由な時間過ごし方について、ミユガミ先生や友達にたずねています。音声を聞いて、それぞれの人物がどのように過ごしているかをメモしよう。

- Mr. Smith () Don () Sho ()

Read & Try!

- 本文を読んで、() にあてはまることを書こう。
- ユニバーサルデザインは、() の助けになるように設計されたものである。
- ユニバーサルデザインの自動販売機は、コインの投入口とボタンが () ので、小さな子どもにも使いやすい。
- あなたのまわりで見かけけるユニバーサルデザインの例について、話し合ってみよう。

thirty-nine ▶ 39

環境教育の実践例

白井市立南山中学校

教諭 堀尾 果歩

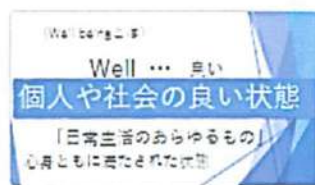
本校の環境教育の実践例は、「SDGs」や「ウェルビーイング」など、年ごとのテーマを元に、白井市スクールサミットへ参加・発表を行っています。スクールサミットを通して、生徒たちは、自分たちが住んでいる環境の現状、これからについて考えて発表することで、プレゼンテーション能力や課題を見だし、解決しようとする力などを身に付けていきます。

昨年度に引き続き、今年度のテーマも「ウェルビーイング」です。昨年度、本校のビオトープにて絶滅危惧種のガシャモクが発見されました。このような生物がいる白井市の環境を大切に、これからも受け継いでいくためにはどうすればよいか、と生徒たちは考えてパワーポイントを作成し、発表しました。昨年度の発表は、スクールサミットだけでなく校内学年行事の立志の会でも発表されました。発表した生徒、聞いた生徒たちは自分たちの通う学校内に居る希少な生物へ興味をもつ姿が見られました。今年度の発表は、昨年度の内容を前提に、白井市の環境下にある自然や文化財などを守り、街をより良くしていくにはどのような取り組みをすればよいか、考えました。提案予定の活動としては、月1回のゴミ拾いを学校対抗で行うこと、廃品リサイクルやバザーでの販売による利益での植樹、ひとりひとりがエネルギー資源を無駄にしないような生活を心掛ける、そして学校では委員会が活動して給食の残飯0を目指すことなどです。

発表を行う学年は、毎年一つの学年の代表のみですが、年々引き継がれています。この発表を通して、生徒たちはこれからも自分たちの住む環境について考え、課題に向き合っていく戸考えられます。



1 ☆



2 ☆



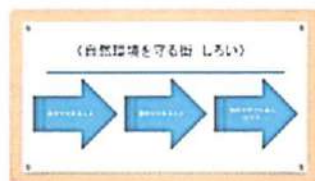
3 ☆



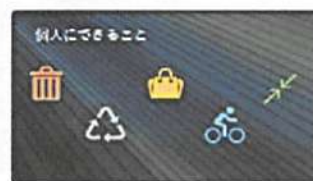
4 ☆



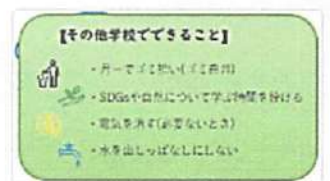
5



6

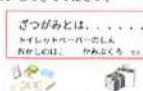


7 ☆



8 ☆



実践校	成田市立加良部小学校				
学年	4 年	教科	総合的な学習の時間 (社会科・国語科)	単元	①リサイクル大作戦 (ごみの処理と利用) ②エコ大作戦
手立て (活動)	①単元の目標「ごみを減らすためにできることを考えて実行しよう」 ・社会科「ごみの処理と利用」の単元と絡めて、わたしたちが出したごみのゆくえを話し合ったり、清掃工場やリサイクルプラザでの処理の仕方を見学したりする。そこから、ごみを資源化することが資源の有効利用につながることを考えさせる。 ・「リサイクル大作戦」と題し、校内全児童にリサイクルできる資源ゴミを持ってきてもらうための宣伝や、回収活動(1週間×2回)を行う。 ②単元の目標「ごみ以外の「むだ」を減らすためにできることを考えて実行しよう」 ・生活の中での「むだ」について話し合い、課題を設定し、情報を収集する。そこから自分たちでもできる「むだを減らすためにできること」を実践する。 ・国語科「調べてわかったことを発表しよう」の単元に絡めて、調べたことや実践したことについて、「Canva」や「スライド」を使って、ポスターや発表資料をつくってまとめる。 ◎ ①・②の活動を通して、ものを大切に生活していくことの意識を高めさせる。				
児童の反応 ※①のみ	・社会科の授業を通して、自分たちの「ごみのゆくえ」について、社会科見学を通して深く理解している様子であった。リサイクルも含めた「3R」のことも理解でき、特に「リサイクル」に対する意識が高まっていった。 ・「リサイクル大作戦」の活動では、全児童に宣伝しようとする意欲や、実際に回収する際の活動意欲がとても高かった。 ・『9月の2回目では、もっと多くの方がリサイクル品をもってきてくれるようにしたい』『学校以外の地域の人にもリサイクルへの意識をもってもらいたい』『夏休み中にも自分や家族ができるリサイクル活動をしてみたい』といった感想が挙げられていた。				
活動中の写真	リサイクルだいさくせん 6がつ23にち～6がつ27にち (ビン、カン) キャップやふたをとる。 なかをあらって、つぶしてもつてくる。  (ペットボトル) キャップをとり、ラベルをはがして、つぶしてもつてくる。 中をすすいでつぶしてください。  (ダンボール) つぶしてからつぶしてはもつてくる。  「ざっし・しんぶん」 しめいごとにつぶしてはもつてくる。  (びつがみ) かみくろにいれて、むでしてはもつてくる。 ざつがみとは、・・・・・・ トイレットペーパーのしん おかしは、かみくろ     				

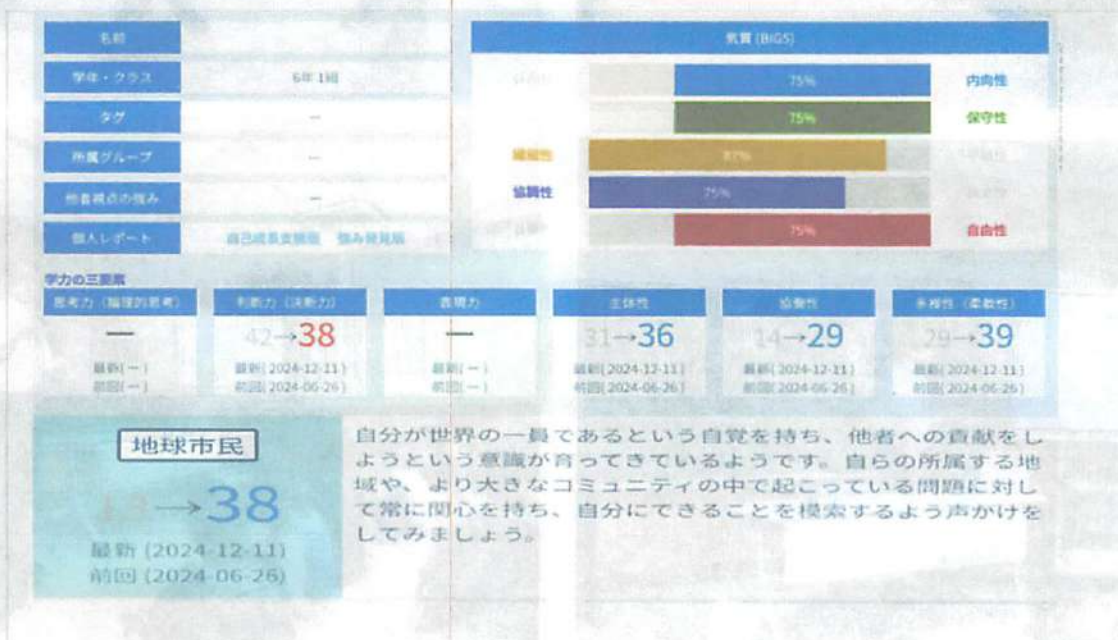
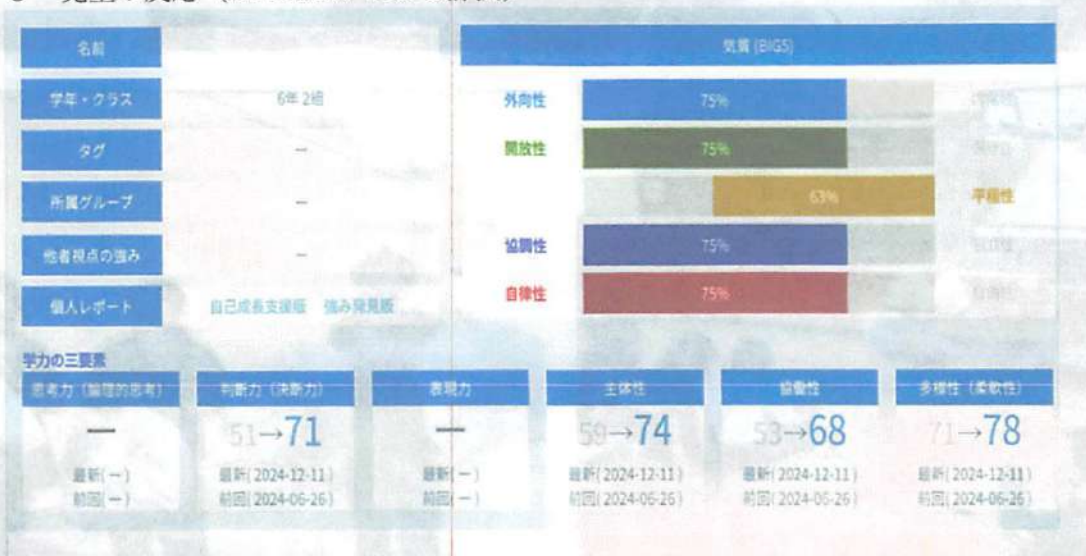
環境教育に関わる実践報告（八街市立朝陽小学校）

- 1 教科 6年生総合
- 2 単元名 八街社会貢献隊
- 3 手立て ○プロジェクト型学習
 - ・フィールドワーク
 - ・ものづくり

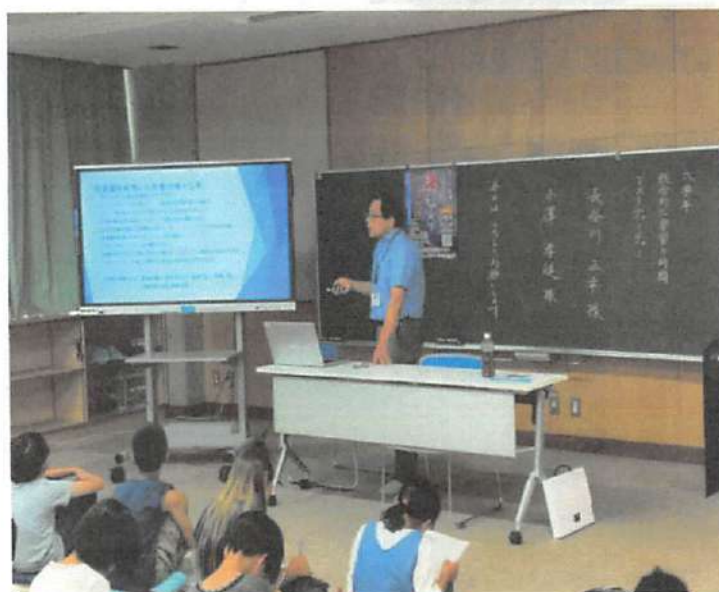
4 目指す児童像

プロジェクト型学習を通して身につけたい資質能力を向上させ、学習を終えても社会貢献活動に取り組み続けたい願い、日本社会に根差したウェルビーイング（協調的幸福感）が高まる児童

5 児童の反応（AI GROW による評価）



6 活動の様子



1. 教科 総合的な学習の時間（5 ≡6年）
2. 単元名 林業体験—SDGsについて調べよう
3. 手立て（活動）

本校では、5年の総合的な学習の時間に、環境についての学習を行っている。2015年にSDGsが誕生してから10年、多くの児童がこの言葉を知っていることから、今年度はSDGsについて調べ、発表する活動を行うこととした。はじめにユニセフ協会のSDGs CLUBのサイトを活用しながら、SDGsの考え方と17の目標について確認した。その後、17の目標の中から、自分が一番気になるものを選択して調べ、スライドショーにまとめた。最後に発表と意見交換を行うことで、それぞれの目標の関係性や、自分たちにもできることを意識させ、環境を守ることへの意識の向上を図った。

4. 児童の反応

調べ活動の中で、個々の目標の規模が大きくても、細かく考えていくと自分たちにもできることがあると気づき、それについてまとめる児童が多かった。

目標数が多いので、発表会では児童は自分の調べていない目標についての発表が大半を占めた。自分の調べたことと比較して、質問や感想を述べる児童が複数人いた。

発表会の後、教室内的ごみを拾う児童や給食を残さないように意識している児童が増えた。また、「給食を残すことはSDGsではない」という発言もあり、5年生では個人で食べられる量に調整し、全体で残りが出ないようにしようと意識して食べることができるようになった。このように普段の生活の中で、環境について意識する様子が見られた。



発表及び質疑応答の様子

5. その他の実践

毎年、5・6年生を対象として林業に携わっている人を招き、林業について学習する林業体験を行っている。昨年度は5年生がバードコール、6年生がコースターを作った。



ESD 委員会での取り組み

成田市立公津の杜小学校

本校は、平成26年度にユネスコスクールに認定された。そこで、平成27年度、児童自身が身近なものから課題を見つけて解決できるように、ESD 委員会を立ち上げた。

○ESD とは

education for sustainable development（持続可能な開発のための教育）

現代社会の問題（気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大）を自らの問題として主体的に捉え、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、身近なところから取り組む（think globally, act locally）ことで、問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらし、持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動。

○本校での取り組み

1 リサイクルの日（毎週水曜日）

資源ゴミの回収。ペットボトル等は1kg10円で業者が回収。ペットボトルキャップは、成田市が契約している、「アルファジャパン」が回収し、ワクチンになる。

【令和6年10月～令和7年1月 33kg】

2 ユニセフ募金（6月）

【令和7年 7745円】

3 赤い羽根募金（10月）

4 服のチカラプロジェクト（11月）

ファーストリテイリング社が行っている「難民へ衣服を送る活動」への協力。ESD 委員会の児童が「服のチカラ」について学び、衣服回収のために自主的にチラシを作ったり、回収ボックスを設置したりする。

【令和6年 430着】

5 書き損じハガキ回収

ユネスコ世界寺子屋運動への参加。書き損じはがきを集め、成田ユネスコ協会へ届ける。

【令和6年 43枚】

環境教育の取り組みについて（5年・総合的な学習『コメコメ大作戦』）

栄町立竜角寺台小学校 山内香緒里

1 取り組みの目的

5年生で、毎年身近な農業体験や職の大切さを学ぶことを目的に、バケツ稲に取り組んでいます。昨年度は、この活動を国連が提唱するSDGsと関連付けて取り組みました。特に以下の目標と深く関係しています。

- ・目標2「飢餓をゼロに」：食料生産の重要性を知る。
- ・目標12「つくる責任つかう責任」：資源を大切に使う意識を育てる。
- ・目標15「陸の豊かさを守ろう」：土地や生態系の保全を考える。

2 活動内容

- ① 毎年5年生が使用しているバケツを再利用し、その中に土や肥料を入れ準備をする。
- ② 水の管理や日当たりなどについて、社会科で学んだ農業についての学習を生かして計画を立てる。
- ③ 苗はJAからもらった栽培キットから育てる。
- ④ 準備しておいたバケツに水を入れ、苗を植える。
- ⑤ 水管理（気温や天候によって調整）
- ⑥ 成長記録（葉の色や高さ、虫の発生などを写真で記録。）
- ⑦ 稲刈り・脱穀（手作業で収穫）
- ⑧ 学びの共有（成長記録を写真やグラフにまとめ、スライドにして発表会を実施。）
- ⑨ SDGsと関連付けてポスターを作製。
- ⑩ 作ったお米は家庭科の調理実習で実際に試食。

3 成果と課題

- 子どもたちが水や土の大切さ、農業の苦労を実感できた。
- SDGsの目標を自分ごととして理解するきっかけになった。
- 地域の方に農業について教えていただく機会をつくりたい。
- 今回はポスターづくりで学級での交流にとどまってしまったが、オンラインなどを用いて動画発信をすることで、SDGsや農業体験を学校全体や地域にもつなげたい。
- 収穫米を給食などで活用する取り組みをしたい。

3日



19日

